



小谷ちず子

広島県出身

1975年 故藤原美代子に師事、同時にアキコカンダに師事。

1978年 藤原美代子亡き後、その門下生でグループポシブルをたちあげその意志を継ぐべく活動を始め。

1981年 北山千鶴子ダンスカンパニー（芦屋）を経て独立。

1978年より三条万里子（NY在住）に師事、多大な影響を受け今日に至る。

1980年 処女公演～白い挽歌～これより創作公演活動にはいる。

ダンスコアポシブルの主宰者として後輩の育成に努めるとともにダンサーとして数々の舞台に出演また作品を作り続けている。

一貫して生命をテーマとし、生と死そこにある人間の美しさ
と悲しさを追求し生きることの素晴らしさと愛を踊り続けている。

2004年より即興ダンス（ゾイド）に参加 新たな挑戦で新しい分野を開きつつある。

また2004年よりダンスコアポシブルメンバーから選抜してPカンパニーをたちあげ

2010年白鳥の湖全幕公演（アルカイックホール）

2011年平和への種ともなれば～ヒロシマ・ナガサキからチェルノブイリへ～を成功に導く

2012年いのちへの鎮魂の歌～福島へ～を発表

